

子どもたちが 気づかせてくれること

社会福祉法人ともえ福祉会
理事長 清水ひとみ



コラム連載 Vol.04

ともえ保育園では、お茶会ごっこを月一回、年長さん向けに実施しています。お茶会ごっこでは、多津瀬さんの美味しい季節の御菓子と、坐忘斎御家元好みのまろやかな薄茶を毎回頂きます。小学生になっても茶道教室に通いたいという子どももいて、数年前から「ともえ茶道教室」を小学生以上の人向けに開催しています。ここでの低学年の目標は、保育園で学んだ盆略点前を正式に覚えて、茶会でお点前をすること。正式な点前ですから、お客ぶりはもちろんのこと、点前では「帛紗捌き」を習得します。帛紗に子ども用はなく、大人と同じものを使います。小学生は手が小さいので難しそうですが、数カ月もすると上手に捌くようになりま

す。最初が肝心。みんなで手順を確認しながら楽しく練習していきます。しっかり覚えて欲しいこともあって「テストしまーす！」と言うと、「えー!!」と声を挙げながらも少しでもきれいに捌こうと一生懸命頑張る子どもの姿に、私も気合いが入ります。

ところが、テストという言葉を使うからなのか、評価してほしいという気持ちの表れなのか「先生、私は何点?」と言ってくるのです。茶道の点前に点数や評価はないので、返答に困りましたが「茶道に点数はないんよ。お客さんやその場に

おる人がきれいだなあ、美しいなあ、自分のために丁寧に御茶を点ててくれるんだなあと感じてもらえたらOK」と話しました。「そうなんじゃー。ふーん」と子どもたち。

とっさに返答した私も、評価にとらわ

れている自分があるかもしれないことに気づかされました。学校でも社会でも点数で評価されがちですが、茶道は、出来不出来や勝ち負けではなく、相手はどう感じるかを考えながら学び、自分と向き合う稽古事です。それが日本の文化なのです。わかっていくようで、わかっていないのは私たち大人かもしれません。感性をリフレッシュさせてくれる子どもたちに感謝です。



社会福祉法人ともえ福祉会

ともえ保育園

〒730-0001 広島市中区白島北町 18-5
TEL082-228-6088

特別養護老人ホームともの家

〒733-0852 広島市西区鈴が峰町 41-18
TEL082-270-0145



私たちが
かかわる
全ての人が
幸せだと
言える社会
をつくる

社会福祉法人ともえ福祉会は「私たちがかわる全ての人が幸せだと言え社会をつくる」を理念に、ともえ保育園、特別養護老人ホームともの家などを運営しています。

ともえ保育園では**夢と希望**をテーマに未来ある子どもの育成に力を注いでいます。ありがとうございます。おねがいします。を言える「仲良く遊べる元気な子」を育てます。

特別養護老人ホームともの家では**愛と感謝**をテーマに個人個人が人としての尊厳を持ち、社会の中で障害の有無や年齢、性別にかかわらず、かけがえのない人としての生活を送ることができるよう支援しています。地域とかかわりあいながら皆様のお役に立ちたい私たちです。

